

## 第1学年 組 国語科学習指導案

指導者 T 1 学級担任  
T 2 読書指導員  
T 3 特別支援教員

1. 単元名 たのしくよんで、本をしょうかいしよう  
教材 りすのわすれもの  
「おはなしどうぶつえん」をつくって、本をしょうかいしよう

### 2. 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の以下の内容に基づいて設定されている。

思考力・判断力・表現力等

#### C「読むこと」

- (1) イ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。  
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。  
カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。
- (2) イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。

本単元は、「りすのわすれもの」を読み、登場人物である、りすの「さんた」や、その先祖である「たろすけ」のしたことを手がかりにして、お話のおもしろかったことや、好きなところを選び、そのわけを友達と交流し合う。次に、動物の出てくる本を読んで、書名と作者名などを記したカードを作り、それを掲示して、本の紹介をする単元である。

単元の前半は、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む活動であり、後半は、そこからの発展的な活動として、動物の登場する本を紹介して読み合う活動である。すなわち、『りすのわすれもの』という教材を共通して読む学習体験をもとに、『おはなしどうぶつえん』を作って、一人ひとりの読書活動へと広げる。更に作成した紹介カードを掲示して互いに読み合い、友達が紹介した本に興味を持たせるとともに、その本を読んだら、自分の名前を貼るようにし、読書を広げていくような単元構成になっている。

本学年では、「おはなしたくさんききたいな」でさまざまな本の読み聞かせを通して、読書への関心を高め、「ほんをよもう」「としょかんへいこう」で、学校図書館で本を探して読み、読んだ本について話して読書を広げてきた。「おはなしのくに」では昔話に興味を持ち、これまでにさまざまなおはなしの本と触れ合ってきた。また、「カードにかいてしらせよう」では、好きな本の中から、心に残っているところをカードに書き、友達に知らせるという活動も行っている。

読むことの学習を読書活動につなげていくことの必要性は、近年、特に強調されている。国語科の学習を、学校図書館や地域図書館へと展開していくことは自立した読書人の育成のためにも大きな課題である。ここでは、1つの教材の読みの活動から、読んだ図書の紹介へと展開するような言語活動を行っていく。

#### (2) 児童の実態（平成30年10月21日実施、男子16名 女子19名 計35名）

本単元を実施するにあたり、実態調査を行った結果は次のとおりである。

#### 〈読書について〉

##### ①本を読むことは好きですか。

好き・・・33人 嫌い・・・2人

##### ②どんな種類の本をよく読みますか。（複数回答）

絵本：27人 物語：20人 図鑑：5人

その他：宇宙・科学・スポーツの本

③本を読むとき（借りるとき）、どのように選んでいますか。（複数回答）

- ・題名がおもしろそうだった本：26人
- ・絵が気に入った本：18人
- ・友達が読んでいた本：17人
- ・先生が読んでくれた本：15人
- ・好きなジャンル（動物・スポーツ・科学など）の本：6人
- ・少し読んでみて、おもしろそうだった本：1人

〈学習について〉

①発表することは好きですか。

好き・・・16人 嫌い・・・19人

②自分の考えや思ったことを書くことは好きですか。

好き・・・26人 嫌い・・・9人

本学級は、本を読むことが好きな児童が多く、図書の時間や朝の読書の時間を楽しみにしている。入学してからこれまでに、平仮名や片仮名を習得し、少しずつ自分で本が読めるようになってきた。読んでいる本は絵本がほとんどであるが、中にはまだ文字や文が読めずに絵だけを眺めている児童も数人おり、自分で読んだり書いたりすることが困難な児童もいる。反対に長い物語を夢中で読んでいる児童もあり、学級内での個人差が大きい。

朝の会の「日直のはなし」では、これまでに「好きなたべもの」「大きくなったらなりたいもの」「好きな本」「今がんばっていること」などのテーマについて話をしている。テーマについて、その理由や詳しい内容なども入れながら3文くらいで話ができるよう取り組んでおり、ほとんどの児童が話すことができるようになってきた。

既習の「カードにかいてしらせよう」では、文字の少ない絵本でも自力で読むことができない児童がいたものの、読み聞かせをすることで、全員が心に残ったところ（面白かったところ・驚いたところ・好きなところ・嬉しかったところなど）をカードに書くことができた。

自分の考えや思いを書くことは好きな児童が多いが、声に出して発表となると、「恥ずかしい。」「緊張する。」「話すことが思いつかない。」等の理由により、苦手意識を持っている児童が多い。発表への抵抗を少なくするため、まず、伝えたいことを書いてから発表させるように段階を踏んで取り組んでいきたい。

（3）重点達成のための手立て

①読み聞かせから入り、動物の出てくる本への興味を持たせる。

児童は、読み聞かせが大好きである。読み聞かせで出会った本やそのシリーズものに興味を持つことも多い。そのため、はじめは担任や読書指導員、司書教諭が動物の活躍する話を数冊読み聞かせし、「おはなしどうぶつえん」の入口としたいと考える。また、自力で本を読めない児童には、教師が読み聞かせをしたものの中から選んでも良いこととし、紹介できる本の選択肢を増やし本への興味を持たせる。

②読む動物の本は現存する動物のものとし、内容も物語か絵本に限定する。

動物の活躍する本はとても幅広く、恐竜などの大昔の動物や、想像上の動物など多岐にわたる。児童にも本を選ぶ際に迷うことが予想されるため、『動物の本』は「動物園」「水族館」「昆虫園」に行けば会える、つまり現存する動物に限定する。また、今回は動物の活躍する『おはなし』を読ませたいため、図鑑等は除き、物語（9類）または絵本に絞って本を選ぶように、必要に応じて個別に支援していく。その際、司書教諭と連携を取りながら、流通システム等を活用し、読書指導員に動物が活躍する本を学級に集めてもらい、自力で本を選ぶことが難しい児童が自分で本を選べるような環境を作っておく。

③紹介する本を手元に置き、児童が書きやすいよう紹介カードの内容を工夫する。

動物の活躍する本を読んだら、読書の記録カードに積み重ねていき、その中から一番気に入った本を選んで「おはなしどうぶつえん」を作成するようにする。読書の記録カードは普段使用しているものとは別に作成し、本に出てくる動物を記入できるようにする。本の紹介カードを書く際には、選んだ本を手元に置くことで、自分で何度も読み返しながら友達を読みたくなるようなおすすめポイントを書けるようにする。また、紹介カードの項目を工夫し、書く方も読む方もわかりやすいものになるようにする。

④動物園に貼って学級全体で共有し、動物の活躍する本を多読させることで、読書の幅を広げる。

実態からもわかるように、児童は友達や教師が読んだ本を手に取り、自ら読むことも多い。そこで、動物が出てくる物語をカードに書いて動物園を作成し、自分でも読んでみたいという思いを持たせる。また、紹介された本を読んだら、「お客様カード」を貼り、自分が紹介した本を友達を読んでくれたという経験を通して、「もっと読みたい。」「友達に紹介したい。」という意欲につなげる。

この「おはなしどうぶつえん」の学習を、児童がすすんでいろいろなおはなしを読むきっかけになるような取り組みにし、児童1人1人の読書の幅を広げる。

### 3. 単元の目標

○読書に親しみ、いろいろな動物の本があることを知る。(知識・技能)

○人物の動きや、場面の様子に着目して読み、内容や感想などを伝え合うことができる。

(思考力・判断力・表現力等)

○自分が楽しんで読んだ本を、友達に紹介しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

### 4. 指導計画 (10時間扱い)

| 次   | 時 | 学習活動と内容                                                                                   | 指導上の留意点<br>重点達成のための手立て(重)<br>評価◎                                                                                                                                                                |
|-----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第一次 | 1 | ○「おはなしどうぶつえん」を作ること<br>を知り、動物の出てくるお話に興味<br>をもつ。<br>並行読書：動物の出てくるお話<br>読書の記録カードに<br>記入する。(重) | ・動物の出てくるお話の読み聞かせを聞き、<br>「おはなしどうぶつえん」を作ることを確認し、<br>学習の見通しを持たせる。(重)<br>・現存する動物が出てくる「おはなし」を読む<br>ことを知らせる。(重)<br>・動物の出てくるお話を読み、読書カードに<br>記入していくことを知らせる。(重)<br>◎「おはなしどうぶつえん」に興味をもって<br>読み聞かせを聞いているか。 |
|     | 2 | ○「りすのわすれもの」を通して読<br>み、登場人物を話し合う。                                                          | ・登場人物を話し合い、現在と過去に分けて<br>まとめるようにする。<br>◎登場人物を確かめながら読んでいるか。                                                                                                                                       |
| 第二次 | 3 | ○「りすのわすれもの」を読み、内<br>容の順序を考えて整理する。                                                         | ・登場人物の行動や順序を確かめながら過去<br>と現在の話を整理するようにさせる。<br>◎登場人物の行動を確かめながら内容を読ん<br>でいるか。                                                                                                                      |
|     | 4 | ○「たろすけ」と「さんた」の行動<br>が同じであることを確認すること<br>で、「りす」と「くるみ」がずっ<br>と「なかよし」であったことに気<br>づいて読む。       | ・過去と現在で起こったことが同じというこ<br>とに気をつけて読むようにさせる。<br>◎様子を表す言葉や時を表す語句に注意して、<br>内容を考えているか。                                                                                                                 |
|     | 5 | ○「りすのわすれもの」のおもしろ<br>かったところや気づいたことを紹                                                       | ・おもしろかったことや気づいたことをノー<br>トに書き、発表するようにさせる。                                                                                                                                                        |

|             |          |                                                    |                                                                                          |
|-------------|----------|----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|             |          | 介し合う。                                              | ◎おもしろかったことや気づいたことを進んで考えることができたか。                                                         |
| 第<br>三<br>次 | 6        | ○「おはなしどうぶつえん」で読んだ本をどのように知らせたらいいか、話し合う。             | ・紹介するときに必要なことを話し合わせるようにする。<br>◎動物が出てくる本の紹介の仕方を理解し、進んで読もうとしているか。                          |
|             | 7        | ○動物が出てくる本を読んで「読書の記録」に記入し、「おはなしどうぶつえん」で紹介したい本を1冊選ぶ。 | ・動物が出てくる「おはなし」を読んだ中から友達に紹介したい本を1冊選ばせるようにする。<br>◎登場人物を確かめて「読書の記録」に記入し、気に入った本を選ぶことができたか。   |
|             | 8<br>本時  | ○選んだ本をもう一度読み、「紹介カード」を書いて、友達と紹介し合う。                 | ・紹介する本を手元に置き、読み返ししながら必要な情報を「紹介カード」に書かせるようにする。(重)<br>◎選んだ本をもう一度読み、「紹介カード」を書いて知らせることができたか。 |
|             | 9        | ○「紹介カード」貼り、動物園を完成させ、友達に紹介する。                       | ・「紹介カード」を貼って動物園を完成させ、内容を友達に紹介させるようにする。(重)<br>◎「紹介カード」を貼り、何の動物が活躍する話かわかるように紹介することができたか。   |
|             | 10<br>常時 | ○「おはなしどうぶつえん」で紹介された本を読み、「おきやくさまカード」を書いて貼る。         | ・紹介された本を読み、名前を書いたシールを友達の書いた「紹介カード」に貼るようにさせる。(重)<br>◎「おはなしどうぶつえん」で紹介された本を進んで読んでいるか。       |
|             |          | ↓                                                  | ↓                                                                                        |

## 5. 本時の指導（8／10）

### （1）本時の目標

- ・動物の活躍するお話を読んで紹介カードに書き、友達に紹介することができる。

### （2）展開

| 時配 | 学習活動と内容                                                                                                                | 指導上の留意点と支援(○)と評価(◎)<br>重点達成のための手立て(重)                   | 資料             |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------|
| 3  | 1. 前時までの学習を振り返る。                                                                                                       | ○動物の活躍する本を読んで、友達に紹介する学習に取り組んでいることや、その中から1冊選んだことなどを確認する。 | 紹介カード<br>教師の見本 |
| 2  | 2. 本時の課題を知る。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「おはなしどうぶつえん」をつくって本をしょうかいしよう。</div> |                                                         |                |
| 8  | 3. 紹介カードの書き方を知る。<br>・本の題名<br>・書いた人                                                                                     | ○どのように書くのかがわかるよう、教師の見本をおすすめポイントの項目別に3パターン用意し、全体で紹       |                |

|     |                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                 |                      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
|     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出てくる動物</li> <li>・おすすめポイント</li> </ul> <p>(面白いところ・好きなところ・驚いたところなど)</p> | <p>介カードに書く項目や内容を確認する。</p> <p>○既習の「カードにかいてしらせよう」で書いた『ここにのこったところ』の内容を思い出させ、おすすめポイントの項目を選ばせるようにする。</p>                                                                                             |                      |
| 1 5 | 4. 選んだ本を読み、紹介カードを書く。                                                                                         | <p>(重) おすすめポイントを書くために、本時に紹介する本を1人1冊手元に置き、何度も読み返しながらカードを書いて良いことを知らせる。</p> <p>○自力で読んだり書いたりできない児童については、個別に本を読み聞かせし、対話を通して気持ちを引き出しながらカードに書かせるようにする。</p> <p>◎選んだ本をもう一度読み、「紹介カード」を書いて知らせることができたか。</p> | 選んだ本                 |
| 3   | 5. 書いたカードを、友達と紹介し合う。                                                                                         | <p>○全員の前で紹介する前に、ペアの友達や同じグループの友達に紹介させ、発表の練習をすることで自信につなげさせる。</p> <p>○カードを紹介し、書き間違い等に気付いたら直させる。</p>                                                                                                |                      |
| 1 2 | 6. 「おはなしどうぶつえん」に自分が作ったカードを貼りながら、数名に発表させる。                                                                    | <p>○書き間違い等があった際に、はがして書けるよう、マスキングテープで仮貼りをさせる。</p> <p>○動物の種類別に紹介カードを貼りながら、数名にカードの内容を発表させるようにする。</p> <p>○書き終わった児童数名に、簡単に本の紹介をさせ、学習のまとめをする。</p>                                                     | 動物園の掲示物<br>マスキングテープ  |
| 2   | 8. 本時のまとめと次時の予告をする。                                                                                          | <p>○次時は、おはしどうぶつえんを完成させ、友達が紹介した本を読んでいくことを知らせる。</p>                                                                                                                                               | お客様カードの見本<br>(名前シール) |